

月	■ 題 材 名 ● 教 材	時 数	題 材 の 目 標	評 価 の 観 点		
				I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
4	■ 歌詞の内容や曲想の変化を味わって ● 〈歌唱〉「花」	3	曲想の変化を感じ取り、曲の特徴を生かして表現を創意工夫しよう。	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解し、楽曲に関する知識、他の声部や伴奏を聴きながら合わせて歌う技能が身についている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わりについて)や技能(他の声部や伴奏を聴きながら合わせて歌う技能)を得たり生かしたりしながら曲にふさわしい表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
5	■ ほかの芸術と関係する音楽の役割を聴き取って ● 〈鑑賞〉「アイダ」	3	音楽と舞台による表現の関連を考えながら音楽の役割」を聴き取ろう。	楽曲に関わる知識、物語の内容や登場人物の心情が音楽でどのように表現されているのか理解している。	鑑賞に関わる知識(物語の内容や登場人物の心情が音楽でどのように表現されているのか)を得たり生かしたりしながら音楽のよさを味わって聴き、舞台芸術における音楽の意味や役割について考えている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら音楽の良さや美しさを味わって聴き、曲や演奏に対する評価と根拠について自分なりに考える学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
6	■ 歌詞と曲の形式を生かして ● 〈歌唱〉「荒城の月」	3	曲の形式を生かして表現を工夫しよう。	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解し、楽曲に関する知識、音域や強弱に応じた発声の技能が身についている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
7	■ 曲想と音楽の構造を関わらせて ● 〈器楽〉「琴、荒城の月」	3	曲の形式を生かして表現を工夫しよう。形式を生かして表現しよう。	曲想と音楽の構造との関わりを理解し、表現のための右手の使い方、押し手などの技能が身についている。	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)、技能(表現のための右手の使い方、押し手など)を得たり生かしたりしながら、音楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
9	■ 舞台芸術での音楽の役割や効果を聴き取って ● 〈鑑賞〉「歌舞伎「勅進帳」	4	舞台芸術における音楽の役割や特徴を舞台芸術の表現と関わらせながら鑑賞しよう。	歌舞伎や文楽の音楽の特徴と、そこから生まれる音楽の多様性について理解している。	鑑賞に関わる知識(歌舞伎や文楽の音楽の特徴と、そこから生まれる音楽の多様性について)を得たり生かしたりしながら音楽のよさを味わって聴き、舞台芸術における音楽表現の固有性や共通性で考えている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら音楽表現の固有性・共通性について考え、音楽のよさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
10	■ 曲想や声部の役割を感じ取って ● 合唱コンクール課題曲	4	曲想を感じ取りながら声部の役割を生かして表現したり、音楽の構成を理解して鑑賞したりしよう	音楽の構造と曲想との関わりの知識、歌詞の内容や全体の響きを生かした音楽表現するために必要な技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(音楽の構造と曲想との関わり)や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
11	■ 言葉の反復やリズムのまとまりを生かして ● 〈創作〉「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」	4	言葉の抑揚とリズムを結び付けて表現しよう。	言葉のリズム、反復や組み合わせによるつながり方の特徴を理解し、課題に沿った適当な言葉を選択し、組み合わせる技能が身についている。	創作表現に関わる知識(言葉のリズム、反復や組み合わせによるつながり方の特徴)技能(課題に沿った適当な言葉を選択し、組み合わせる)を得たり生かしたりしながら、創作表現を工夫する。	創作に関する知識、技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
12	■ 曲想と音楽の構造を関わらせて ● 〈器楽〉「ギター(ウクレレ)」	3	サミングや息のコントロールを身につけて表現を工夫しよう。	曲想と音楽の構造の関わりについて理解し、創意工夫を生かすための息のコントロール、サミングなどの技能が身についている。	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造の関わり)や、技能(息のコントロール、サミングなど)を得たり生かしたりしながら器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
1	■ 曲想の変化と音楽の違いを理解して ● 〈鑑賞〉「ブルタバ(モルダウ)」	3	曲想の違いと変化が音楽とどのように関わっているかを理解して鑑賞しよう。	楽曲に関わる知識、楽曲それぞれのテーマが音楽でどのように表現されているのか理解している。	観賞表現に関わる知識(楽曲それぞれのテーマが音楽でどのように表現されているのか)を得たり生かしたりしながら、音楽のよさを味わって聴き、曲や演奏に対する評価とその根拠を考えている。	観賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら音楽の良さや美しさを味わって聴き、曲や演奏に対する評価と根拠について自分なりに考える学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
2	■ 曲想や声部の役割を感じ取って ● 「合唱コンクール各クラス自由曲」	3	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	曲想を感じ取りながら声部の役割を生かして表現したり、音楽の構成を理解して鑑賞したりしよう	音楽の構造と曲想との関わりの知識、歌詞の内容や全体の響きを生かした音楽表現するために必要な技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(音楽の構造と曲想との関わり)や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
3	■ 曲想を豊かに感じ取って ● 卒業式歌	2	曲想を感じ取りながら声部の役割を生かして表現を工夫しよう。	音楽の構造と曲想との関わりの知識、歌詞の内容や全体の響きを生かした音楽表現するために必要な技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(音楽の構造と曲想との関わり)や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

<評価方法>
Ⅰ 授業態度、提出物、発言、鑑賞レポートなど Ⅱ 実技テスト、定期考査、鑑賞レポートなど Ⅲ 実技テスト、定期考査など